

紺 碧

こ

ん

ぺ

き

春

SPRING
2023 vol.07



特集

気になる痛みは手？足？背骨？ 整形外科で診る主な疾患

埼玉石心会病院 | 整形外科 | 診療科長 整形外科部長 山田 哲也 医師

埼玉石心会病院 | 整形外科 | 副部長 角谷 智 医師

埼玉石心会病院 | 整形外科 | 副部長 高橋 晃 医師

特集 専門医がやさしく解説

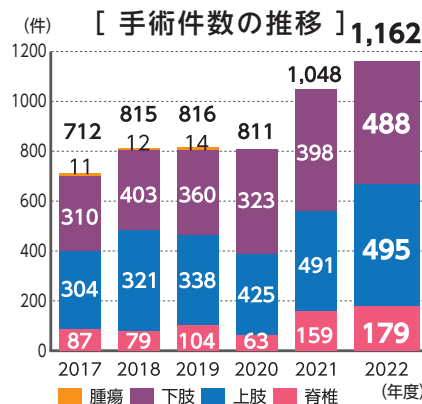
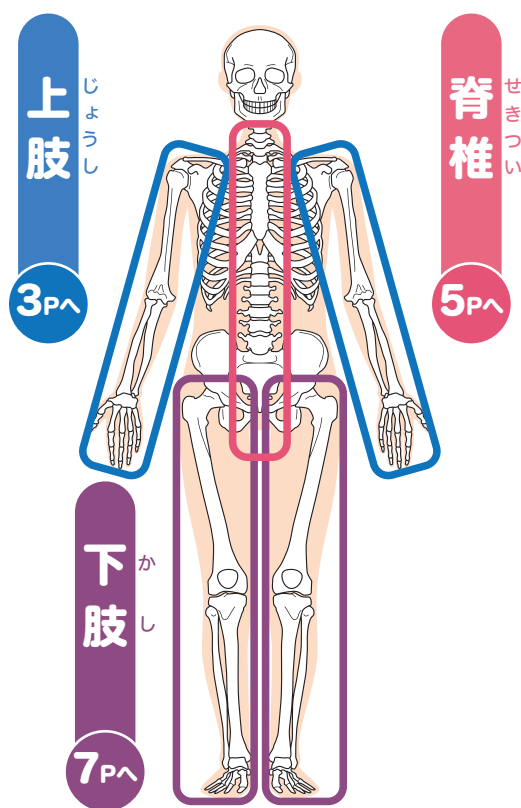
気になる痛みは手？足？背骨？ 整形外科で診る主な疾患

整形外科とは、運動器を構成するすべての組織を対象とした診療科で、上肢（肩、肘、手、手指）、脊椎（脊柱・脊髄・骨盤）、下肢（股、膝、足、足指）など広範囲に及びます。埼玉石心会病院の整形外科で対応している主な疾患の解説、治療法、予防法について、埼玉石心会病院整形外科診療科長・整形外科部長の山田哲也医師、整形外科副部長の角谷智医師、高橋晃医師にお話を伺いました。

埼玉石心会病院の整形外科

整形外科の対応範囲は、転倒や事故による骨折などの外傷から、腰痛や関節の炎症、手足のしびれなどの慢性疾患まで多岐にわたります。

当院は、上肢（肩、肘、手）、脊椎（頸椎・胸椎・腰椎）、下肢（股関節、膝関節）の分野を中心に、各分野で高度な手術による治療を目指しています。当院の整形外科医は、すべて同じ大学の医局に所属しており、医師間の意思統一ができる点が診療の上での強みです。



また、特殊な治療を必要とする骨・軟部腫瘍の分野は、腫瘍専門医を迎え、さやま総合クリニックで外来受診できる体制を整えています。



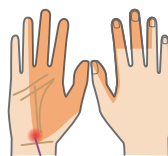
診療科長／整形外科部長 山田 哲也

- ・日本整形外科学会専門医・指導医
- ・臨床研修指導医
- ・日本専門医機構認定整形外科専門医
- ・難病指定医
- ・日本手外科学会専門医・指導医
- ・日本関節学会評議員
- ・身体障害者指定医
- ・東京医科歯科大学医学部臨床准教授

Tetsuya Yamada

手根管症候群

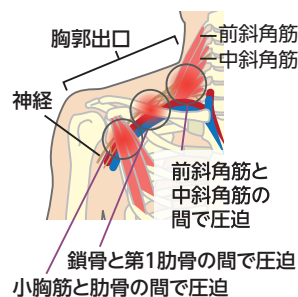
親指から薬指のしびれから始まり、やがて痛みが出てきます。症状が進むと親指の力が落ちて、ものをつまむと落とすようになります。



痛みとしびれの症状が出る範囲

胸郭出口症候群

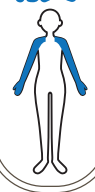
腕を上げるような動作のときに、上肢のしびれ、腕から肩、肩甲骨の周囲に痛みを感じます。腕の小指側の痛みやビリビリするしびれ、ものが掴みにくい、細かい動作がやりにくいなどの運動障害も出てくる場合があります。



また、胸郭出口症候群は、体質や姿勢、骨格や筋肉量なども関係し、なで肩の女性や筋肉質の男性に多いといわれています。一方で、これらは正しく診断されないことも多い疾患です。辛いしびれが続く、日常生活の動作が難しくなるなどがありましたら、詳しい検査を受けましょう。

上肢の治療は、装具の使用や薬による治療、適切なリハビリテーションなどが中心ですが、神経・血管への圧迫が強い場合は、圧迫を取り除く手術を行います。

上肢



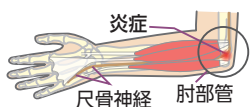
肩から手までの骨折や脱臼などの外傷から慢性疾患まで、治療難易度の高い疾患を専門的に治療しています。

手外科専門医が在籍しており、手外科専門医を育成するための「日本手外科学会認定基幹研修施設」に指定されています。

上肢の主な疾患

肘部管症候群

初期のころは、小指と薬指の一部にしびれを感じ、動きにくさが出てきます。症状が進むと手の筋肉がやせてくることや、小指と薬指の変形（伸びない）が起きます。



得意とする低侵襲手術

高度な技術と高い専門性が要求される、マイクロサージャリー、関節鏡視下手術、肩、肘、手指関節症に対する人工関節置換術、難治症例などすべて対応しています。

内視鏡を使用した低侵襲手術は、痛みが少ないうえ、傷も小さく、関節の可動性を保持できるため、翌日からリハビリテーションを開始することが可能です。

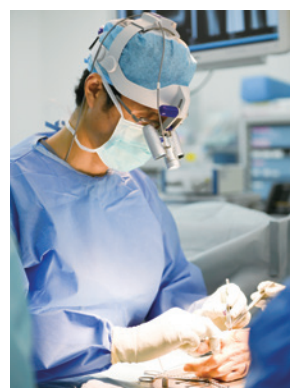
当院の医師は、最先端の手術や治療を患者さんに提供できるよう、日々研鑽を積んでいます。

今回ご紹介の手術の多くは、診断や治療のできる施設が限られています。当院はこれら全てに対応できる、全国的にみても数少ない医療機関のひとつです。

マイクロサージャリー（顕微鏡）

文字通り、マイクロ（微小）＋サージャリー（外科）という手技です。整形外科領域では、切断指

の再接着などで用いられます。通常の20倍、大きいもので50倍くらい拡大する手術用顕微鏡を覗きながら、組織を剥離したり、髪の毛よりはるかに細い縫合糸と針を用いて、0.5ミリくらいの微小血管や神経を縫い合わせるなど、高度な技術が必要となります。



関節鏡視下手術

直径1.9ミリの細いカメラ器具を手関節内に挿入して行う手術です。小さなものも大きく、より精密に見えます。三角線維軟骨複合体（TFCC）縫合などを行います。

肩、肘ではもう少し太い関節鏡を用いますが、それでも皮膚を切

角谷 智

整形外科副部長

- ・日本整形外科学会専門医・指導医
- ・日本脊椎病学会 脊椎脊髄外科専門医・指導医
- ・日本専門医機構認定整形外科専門医
- ・日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医
- ・日本脊椎病学会 脊髄モニタリング認定医
- ・日本臨床神経生理学会認定医（術中脳脊髄モニタリング分野）
- ・臨床研修指導医・身体障害者指定医
- ・難病指定医・医学博士（東京医科歯科大学）

Satoshi Sumiya



頸椎、胸椎、腰椎と全脊椎の診療を行っています。

日本脊椎脊髄病学会認定の脊椎脊髄外科指導医の資格を有する医師が在籍しています。本資格の取得には、多数の脊椎手術の執刀経験が必要であるため、埼玉県西部地区では数名しかおりません。

脊椎とは

脊椎は大きく、頸椎（首）、胸椎（胸と背中）、腰椎（腰）に分けられます。特に頸椎と腰椎は加齢による変化が大きく、さまざまな疾患があります。

日常生活の注意点は、とにかく転倒しないこと。脊椎に問題がある方が転倒すると、脊髄損傷につながることもあります。

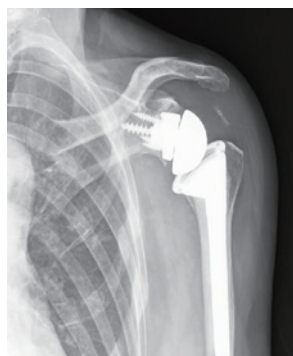
開するより、はるかに侵襲が小さくなります。肩腱板縫合術などを行います。

ほとんど組織を傷めないため、患者さんは早期に社会復帰することが可能となります。

人工関節置換術

障害の起きている関節を人工関節に置き換える手術です。

日本では2014年に認可され、実施医基準を満たした医師しか施行できない、腱板の修復不能な難治例に行う反転型肩人工関節置換術（リバースショルダー）から、肘、指に至る人工関節置換術まで行っています。



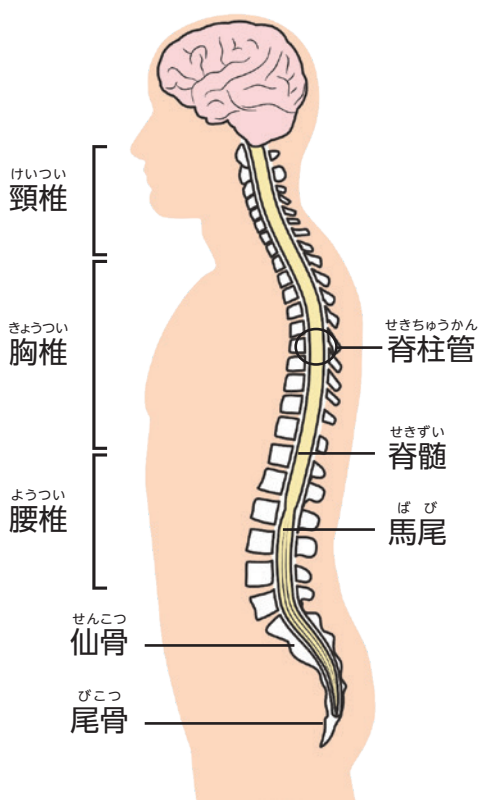
反転型肩人工関節置換術の術後

脊椎の主な疾患

頸椎症性脊髄症

椎間板が加齢により変形して後ろへずれることで脊髄を圧迫する、あるいは脊椎の後ろ側にある黄色靱帯が硬く厚くなり、脊髄を圧迫する疾患です。

初期症状は手足のしびれで、箸が使いにくい、字がきれいに書けないなど、手指が動かしづらくなります。さらに、足がもつれてしま

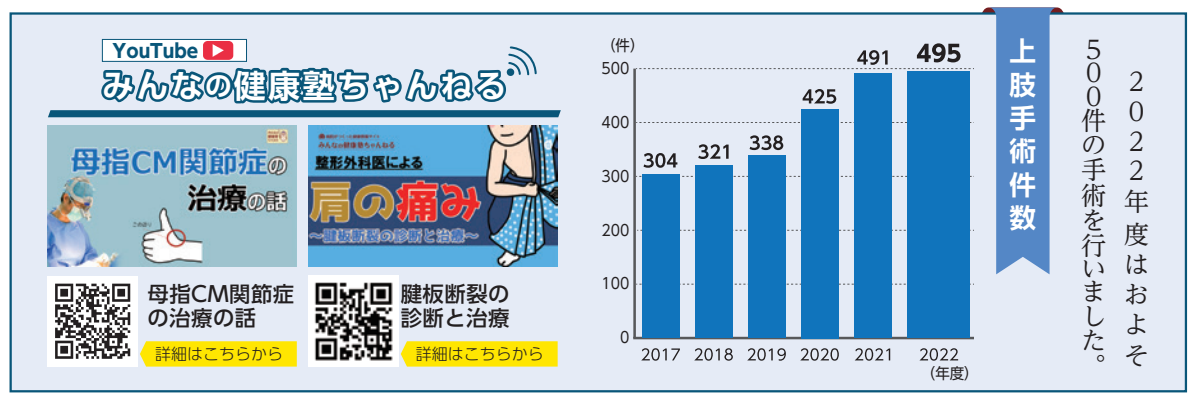


う、手すりがないと階段の上り下りができないなど、だんだん症状が深刻化していきます。

患者さんの中には、何科を受診したらよいかわからない方が多く、脳神経外科や耳鼻科などを受診し、整形外科を受診するところには、かなり病状が進んでいるケースが多くみられます。



手足のしびれなどの症状



※侵襲（しんしゅう）：からだに対する負担、ダメージ

腰部脊椎管狭窄症

腰椎の脊柱管（神経の通り道）が狭くなる疾患です。主な症状は、足のしびれや痛み、排尿障害、臀部から陰部までのしびれで、「歩き方が変」と指摘されることもあります。また、一定距離を歩くと下肢のしびれや疲労感が生じ、長く歩くことができない「間欠性跛行」もあります。

確実な予防法はありませんが、腰痛体操などの運動で足腰の筋肉量や筋力を維持していくこと、また血流を良くすることで、症状が軽いつまみで済むことがあります。

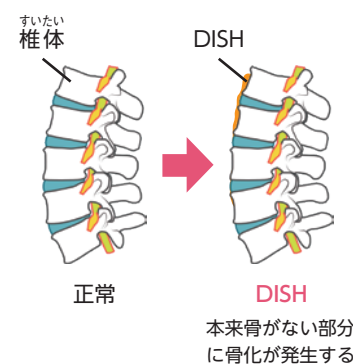


DIISH (びまん性特発性骨増殖症)

DIISHは、脊椎やじん帯などに異所的な骨化（筋肉の中など本来骨がない部分に骨ができること）が起こる疾患です。加齢や、高血圧・肥満・糖尿病などの代謝性疾患が関係していることがわかってきています。超高齢社会となり、高齢の患者さんが増えてきたことで、DIISHの弊害が注目されるようになってきました。

DIISHは、椎体の前側にある「前縦靱帯」が骨のように硬くなつていくものの椎体がつながること、脊椎が一つの太い棒のようになります。転倒すると、この太い棒が真ん中でボキッと折れます。太い骨が骨折するのと同じで、そのままでは骨が元通りになることはなく、かなりの確率で手術となります。

手術では背骨の後ろ側から骨折部分の上下に何本ものスクリュー（インプラント／内固定器）を挿入します。骨が弱くなっている方はお腹側から骨の移植や金属での



固定、背骨の代わりとなる太い支柱を立てる手術を追加することもあります。

かつては背中を中心を大きく開く手術が行われていましたが、当院では現在、スクリューを入れる箇所だけに小さな傷を開けて、スクリューとロッド（脊椎を支える金属の棒）を挿入する、低侵襲手術が主流です。

これにより、術後の痛みがかなり減り、若い方は翌日、高齢の方でも2、3日後には起き上がることができ、1週間程度で退院する方もいます。痛みを取り除く目的で、健康年齢が若い90歳以上の超高齢の方に手術を行ったことがあります。

股関節の主な疾患

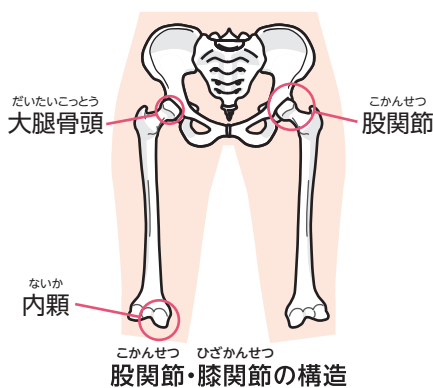
変形性股関節症

症状は、股関節周りの痛み、歩行障害などです。軽症ならば痛み止めの薬とリハビリテーションで治療しますが、悪化した場合は、人工関節置換術を行います。

変形性股関節症は予防することが難しく、9割以上は女性が発症します。高齢者全体では2、3割の確率で発症すると考えられており、珍しい疾患ではありません。

大腿骨骨折

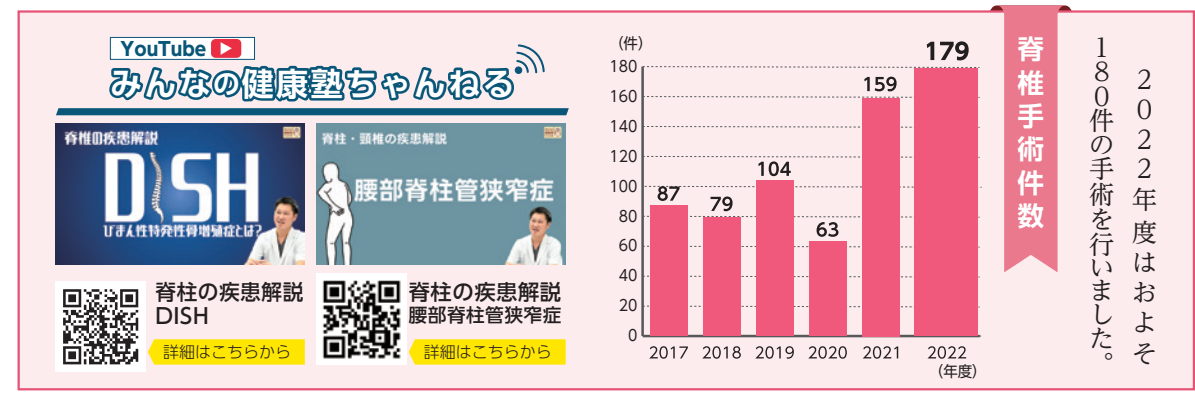
比較的元気で若く、杖を使わずに歩き、自転車にも乗れるような60代から70代の方でも、ある日ふとしたことで転倒して大腿骨を骨折する方が多くいます。強い痛みのため救急搬送となり、手術が必要になることが多いです。75歳以上の高齢者や認知機能が低下した



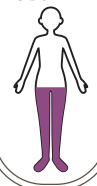
大腿骨頭壊死症

大腿骨頭の一部分が、血流の低下により壊死（骨が腐った状態ではなく、血が通わなくなつて骨組織が死んだ状態）に陥る状態です。

患者さん、90代の超高齢者でも、寝たきりにならず早めに離床するために、手術を行うことがあります。最大の予防法は転倒しないことです。普段からバランスの良い食事と、運動をして足腰を丈夫にし、痛みを我慢しないことが、転倒の予防にもなります。



下肢



対応範囲は、足の付け根から足の指先まで広範囲にわたります。人工股関節および人工膝関節手術をはじめとして、あらゆる下肢外傷に精力的に取り組んでいます。大腿骨近位部骨折や膝関節周囲骨折などは、埼玉県でトップクラスの手術件数です。

下肢とは

下肢は、私たちの体を支え、立つ、歩くという、人としての行動を助ける器官です。いつまでも自分の足で歩き、寝たきりにならないためにも、普段から運動する習慣を大事にしてください。転倒予防は、寝たきり予防にもつながります。

たかはし あきら
整形外科副部長 高橋 晃

- 日本整形外科学会専門医
- 日本人工関節学会認定医
- 日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医
- 身体障害者指定医
- 難病指定医
- 医学博士（東京医科歯科大学）

Akira Takahashi

石心会グループ埼玉地区の診療体制



グループ内の連携

埼玉地区では、急性期治療と入院を受け持つ「埼玉石心会病院」と、外来診療に対応する「さやま総合クリニック」が連携して、地域に根ざし、地域に貢献する医療を実践しています。

初診・外来は「さやま総合クリニック」で行い、高度な検査、入院・手術は「埼玉石心会病院」で対応します。治療が終わりましたら、再び「さやま総合クリニック」で経過観察やリハビリテーションを行います。

一方、救急搬送されるような外傷患者さんの場合、埼玉石心会病院へ救急搬送された時点から整形外科医も救命救急医とともに関わり、検査から緊急手術を含む治療まで、一貫して整形外科医が対応します。

高齢の方が救急搬送された場合は、検査部のスタッフが心臓超音波検査を行い、心臓に問題があればすぐに循環器内科の医師と連携した治療を開始します。



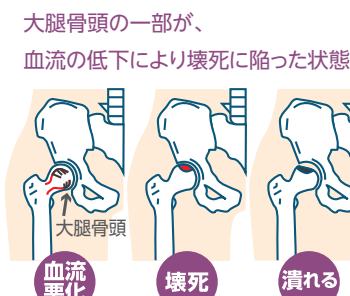
チーム医療

整形外科の手術件数は増加傾向にあります。高齢患者さんも増えているため、循環器内科や麻酔科等と連携しながら安全な手術を行っています。年齢や既往歴等により他院では手術ができない方を受け入れる体制も整えています。

当院で患者さんが多い疾患です。膝の関節が変形することで、膝の痛み、膝の裏のこわばり、いわゆる水がたまる、歩行障害などの症状がみられ、じっとしていても膝が痛い、階段を下りるのが怖いという方もいます。肥満の方や、若

変形性膝関節症

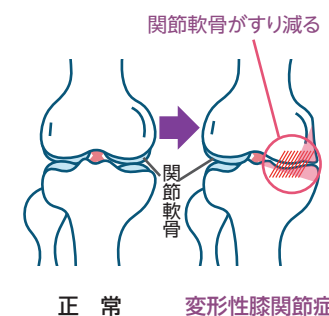
膝関節の主な疾患



お酒が好きな方、ステロイド薬を飲む方に多いといわれています。この疾患のうち、原因がわかっていない特発性大腿骨頭壊死症は、厚生労働省の特定疾患（難病）に指定されています。

60歳以上の女性に多くみられ、主に体重のかかる大腿骨の内側、

大腿骨内顆骨壊死



い頃からO脚だった方が変形性膝関節症になりやすい傾向がみられます。

治療としては、痛み止めの薬やリハビリテーションのほか、膝の関節内へのヒアルロン酸注入があります。これらの治療で回復が望めない場合は、手術を行います。

予防法は、肥満の方は減量すること、高齢の方は、骨粗しょう症により膝関節の変形が進んでしまうこともありますので、骨粗しょう症の治療も予防法の二つです。

手術における安全性への取り組み

人工股関節置換術の患者さんの平均年齢は70歳以上で、人工骨頭挿入術の患者さんの平均年齢は83歳以上です。どちらの手術も「筋肉を切らない」という低侵襲手術を採用しています。術後の入院期間は通常2〜3週間必要ですが、「歩いて帰ることを目指したりハビリにも注力しています。」

また、心臓や内分泌の疾患を抱える患者さんに対しては、麻酔科や循環器内科と緊密に連携して安全な手術を行っています。例えば、かつては側臥位（横向き）で行われた股関節の手術を仰臥位（仰向け）で行い、急変時にも心臓

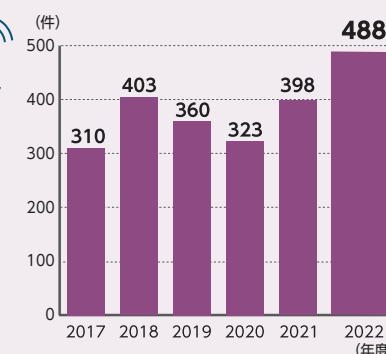
頸部に骨壊死が生じます。骨壊死した部分が陥没することで、急性に痛みが強くなる場合があります。早期の診断が難しいため痛いのを我慢して歩き続け、悪化させてしまうケースがあります。

消炎鎮痛剤や注射で症状が改善しない場合には、手術を行います。

YouTube みんなの健康塾ちゃんねる



詳細はこちらから



2022年度はおよそ500件の手術を行いました。

下肢手術件数

マッサージなどを迅速に対応できる体制を整えています。

社会医療法人東明会 原田病院

外科、脳神経外科、整形外科、消化器外科、肛門外科、小児外科、
内科、神経内科、内分泌・糖尿病内科、消化器内科、リウマチ科、循環器内科、
泌尿器科、呼吸器内科、耳鼻咽喉科、放射線科、リハビリテーション科

当原田病院は昭和43年に開院し、現在、急性期病床100床、回復期リハビリテーション病棟66床、地域包括ケア病棟23床で構成された計189床の病院です。

更には、訪問診療・訪問看護・訪問リハビリテーションも行っており、急性期から自宅での医療を一貫してサービスできる体制をとっております。

当病院の地域役割としては、①超急性期病院からリハビリテーションや退院支援を引継ぐための転院先および退院後の治療継続、②軽症から中等度の救急対応、と考えております。

これからも患者様に寄り添った温かい医療を提供できるように、職員一同、精進してゆく所存です。



病院長 小澤 典行先生



外来診療時間
月～土曜日 | 9:00～12:00 13:30～17:00
外来受付時間
月～土曜日 | 8:00～11:30 11:40～16:30
*休診：日曜日・祝日・年末年始
*救急・急患：24時間受付（ご来院前にご一報ください）

〒358-0003 埼玉県入間市豊岡 1-13-3
TEL：04-2962-1251
<http://www.harada.or.jp/>



診療部長 岡村 有隣先生

医療法人社団輔正会 岡村記念クリニック

外科、腎臓内科、糖尿病内科、循環器内科、消化器肝臓内科、
リウマチ膠原病科、眼科、泌尿器科、人工透析、脳神経外科、乳腺外来、
健診センター、内視鏡センター、美容外科・形成外科



診療受付時間
午前 8:30～11:30（8:00より受付整理券配布）
午後 13:30～16:30（13:00より受付整理券配布）

*休診：日曜日・祝日
*救急・急患：24時間受付（お電話にてお問合せください）

〒350-1245 埼玉県日高市栗坪 230-1
TEL：042-986-1110
<https://okamura-clinic.jp/>

当院は地域の二次救急医療機関として、365日24時間患者受け入れを行っているベッド数19床の有床診療所です。様々な疾患にフットワークよく対応すべく多岐にわたる診療科目を有しており、外科手術につきましても、診断から治療、術後管理、外来診療、在宅介護まで一貫した診療を行っています。透析室（50床）では安全で質の高い透析医療の提供を行っており、医療健診センターでは、人間ドック、企業健診、特定健診等の健診業務により地域の健康増進をサポートしています。美容外科、形成外科の分野は埼玉医科大学病院の専門医と連携し、医療レーザー脱毛、しみ、しわ取り等にも対応しています。

基本理念である、多くの人々の「生きる幸福」に貢献できる医療の提供に努める。[患者が受ける医療は、アメニティによって高められる]をモットーに、患者様本位の、病院らしからぬ、最も病院らしい施設づくりにこだわりました。今後も、医師、職員一丸となって地域の拠点医療施設として、地域医療に貢献したいと考えております。

1 ご来院時における引き続きの「マスク着用」のお願い

2023年（令和5年）3月13日から『マスク着用は個人の判断が基本』（厚生労働省通達）となりました。

しかしながら、当グループ病院、クリニック、福祉施設にはCOVID-19の重症化リスクをかかえる方も多くいらっしゃいます。

つきましては、お越しになられる全ての方は、引き続き『**マスク着用（不織布マスク）**』をお願いいたします。

最新情報につきましては、各施設のウェブサイトをご参照ください。

みなさまのご協力をお願いいたします。

マスクの着用にご協力をお願いいたします。



2 「看護師インタビューシリーズ」公開中です

埼玉石心会病院で勤務する看護師2人組が各病棟を巡り、そこで勤務する看護師にインタビューを行う動画「看護師インタビューシリーズ」を公開いたしました。

普段あまり知ることのできない看護師たちの仕事内容や活躍ぶり、看護への思い、看護師同士だからこそ見せる横顔や本音を紹介しています。患者さんに最も接する機会の多い看護師たちを少しでも身近な存在として感じていただきたく、是非ご覧ください。

看護師インタビューシリーズ

#1 高度急性期病院の「看護の核」に迫る！

～埼玉石心会病院の「心まで見る看護」の真意とは？～



#2 看護師としての「喜び」「助け合い」の心とは！？

～埼玉石心会病院の整形外科病棟・消化器内科病棟看護師のご紹介～



#3 「災害時」の看護の一番大事な考え方「コマンドコントロール」とは？



埼玉石心会病院・看護部では、新卒・既卒を問わず一緒に働いてくれる看護師さん・准看護師さんを募集しております。

実際の病院見学の他、「オンライン説明会」や気になったことを気軽に尋ねることができる「LINE 問合せ」も受付けておりますので、ウェブサイトを是非ご覧ください。

埼玉石心会病院
看護部 Web



病院がつくった健康情報サイト

みんなの健康塾ちゃんねる

医療情報を“もっと”お手軽に **GET!**
LINE インスタ 登録してね!

WEB

詳細はこちらから

みんなの健康塾ちゃんねる



公式LINEは
こちらから



公式Instagramは
こちらから



優しくて頼りになる医療・福祉を目指します。

石心会グループ 埼玉地区

社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院

〒350-1305 狭山市入間川2-37-20
TEL 04-2953-6611 (代表)
<https://saitama-sekishinkai.jp/>



社会医療法人財団 石心会 さやま総合クリニック

〒350-1305 狭山市入間川4-15-25
TEL 04-2953-9995 (外来予約センター)
〈月～金〉8:00～19:00 〈土〉8:00～17:00
〈日・祝日〉8:30～17:00
<https://sekishinkai-sayama-cl.jp/>
TEL 04-2900-2223 (健診予約)
〈月～金〉8:30～18:00
〈土〉8:30～12:30 〈日・祝日〉休
<https://www.sayama-doc.jp/>



社会医療法人財団 石心会 さやま腎クリニック

〒350-1305 狭山市入間川4-15-20
TEL 04-2900-3333
〈月～土〉8:30～17:00
<https://sekishinkai-sayama-jin.jp/>



社会医療法人財団 石心会 いきいき訪問看護ステーション鶴ノ木

〒350-1305 狭山市入間川4-10-15 TEL 04-2955-2060
<https://saitama-sekishinkai.jp/localcare/ikiiki.php>

社会医療法人財団 石心会 狭山市入間川・入間川東地域包括支援センター

〒350-1305 狭山市入間川4-10-15 TEL 04-2955-1114
<https://saitama-sekishinkai.jp/localcare/irumagawa.php>

社会医療法人財団 石心会 石心会介護支援センター

〒350-1305 狭山市入間川4-10-15 TEL 04-2953-6777
<https://saitama-sekishinkai.jp/localcare/sekishinkai.php>

社会医療法人財団 石心会 石心会ヘルパーステーション

〒350-1305 狭山市入間川4-10-15 TEL 04-2900-1302
<https://saitama-sekishinkai.jp/localcare/helperstation.php>

医療法人社団 東京石心会 さやま地域ケアクリニック

〒350-1323 狭山市鶴ノ木1-33 TEL 04-2955-5000
<https://sayama-care.jp/>

社会福祉法人 石心福祉会 特別養護老人ホームオリーブ

〒350-1313 狭山市大字上赤坂290-1 TEL 04-2950-2400
<https://sayama-olive.jp/>



紺碧は、埼玉の広大な大地の上に広がる濃紺の空をイメージしています。地域の皆さんへ医療・福祉に関する情報を幅広く、深くお伝えしていきたいと思っています。



社会医療法人財団
石心会